

【課題】教科書20ページ〜23ページ10行目までを読んで、「李徴」「袁倓」の2人の登場人物について、次の表の空欄を埋めなさい。教科書の本文や注を活用すること。なお、同じ記号には同じ言葉が入る。

〔李徴〕

〔青年時代〕

・博学才穎で、〔A〕に合格

←

・江南尉になるが「賤吏に甘んずるを潔しとせず」

↓〔B〕

〔 〕

・〔C〕に帰り、〔D〕にふける

← ↓ 詩人としてはなかなか芽が出ない

・数年後、生活が苦しくなり、妻子を養うため

〔E〕になる

〔E〕としての生活

・昔、李徴が〔F〕と見ていた連中の

下命を拝さねばならぬ

↓〔G〕

〔 〕が大いに傷つく

←

〔 〕の性が強まる

・一年後、出張先の汝水ほとりて〔I〕

↓ 行方不明になる

〔友との再会〕

・発狂から一年後、袁倓に飛び掛かりかけて

叢に隠れる

←

・つぶやき「危ないところだった」

友に呼びかけられる

←

・異類の身となった自分と話を交わしてほしい

↓ 近況報告などの後、

虎になった経緯を語り出す

○李徴の性格を抜き出そう(意味調べもしよう)

〔袁倓〕

〔青年時代〕

・李徴と同時期に〔A〕

↓ 李徴と〔J〕

〔 〕になる

〔 〕に合格

〔現在〕

・監察御史として、勅命で商於の地を通る

・残月の残る暗い〔K〕いつ?

・噂の人食い虎に遭遇する

←

・虎となった李徴に呼びかける

「その声は、我が友、李徴子ではないか?」

←

・超自然の〔L〕

叢の声と語り合う

〔 〕を受け入れ、

○袁倓の性格を抜き出そう(意味調べもしよう)

再会

〔 〕に、

【課題1】教科書23ページ1行目〜24ページ1行目を読んで、李徴が虎になった経緯を整理しなさい。

← 1年ほど前、汝水のほとりに泊まった夜、「A から に」名を呼ばれた。

← 李徴は声を追って走り出した。

← 知らぬ間に「B 「で走り、「C 「ことに気づく。

← 明るくなり、「D 「と、虎になっていた。

【課題2】教科書24ページ1行目〜30ページ13行目を読んで、李徴は、自分がなぜ虎になったのだと考えているか、考え方の変化を整理しなさい。

○虎になった直後

次第に「人間」の時間が短くなり、「虎」の時間が増えてくる  
虎になりきってしまったら「しあわせ」だろうが、その前に頼みごとをする  
頼みごとの内容「E」

○1つ目の頼みの後、自らの人生を振り返って

過去の自分を悔いる李徴、胸を灼く悲しみを訴えたくても咆哮にしかならない  
周囲が明るくなってきて、別れの時が近づく中、李徴はもう一つ頼みごとをする  
頼みごとの内容「F」

○2つ目の頼みの後

2学年 現代文B 「山月記」 学習プリント③ 二年 組 番 氏名

【課題1】袁愴は李徴の詩について、どのように評価しているか、本文中の記述を手がかりにまとめなさい。

○本文中の記述(抜き出し)

○袁愴による評価

【課題2】李徴が袁愴一行に自らの姿を隠し「叢」の中にいたのはなぜか。また、最後に自らの姿を見せたのはなぜか。それぞれ考えてまとめなさい。

○姿を見せなかった理由

○最後に姿を見せた理由

【課題3】作品中で「月」にはどのような役割があるか、指摘しなさい。